

鏡野町権利擁護センター開所・看板除幕式

4月1日(水)、鏡野町地域福祉センターで鏡野町権利擁護センターの開所・看板除幕式が行われました。

この施設は、地域社会における不平等や差別、虐待等をなくすために、町民のみなさまの相談を受け付け、だれもが住み慣れた鏡野町で安心して生活できるよう、様々な支援を行う専門的な相談支援機関です。

式に際して山崎町長から「権利擁護センターは、町民のみなさまが安心して生活できるように事業を進めていく拠点としての機能を期待しております」とあいさつがありました。



自転車交通ルール漫画読本寄贈

4月10日(金)、鏡野町応接室において、津山交通安全協会から自転車交通ルール漫画読本の寄贈が行われました。この本は町内の小学生、中学生が自転車に乗る時の交通ルールやマナーを漫画で身に付けられる本で、この度50部の寄贈をいただきました。寄贈にあたり、田村交通安全協会会長より「子どもさん方に少しでも交通の恐ろしさを知っていただき、交通安全に役立てていただきたく思います」とあいさつされました。

寄贈を受けた山崎町長は「子どもたちがこの本を手に取り交通マナーを学ぶことで、命の大切さを学んでいただきたいと思います」と答えていました。



地域おこし協力隊委嘱状交付式

4月1日(水)、鏡野町役場応接室において、鏡野町地域おこし協力隊委嘱状交付式が行われ、昨年度から引き続き金澤千恵さんに加え、新たに尾久聡子さん、ロビンワトソンさん、豊島里沙さんの計4名が就任されました。

地域おこし協力隊とは、一定期間地域に居住して地域協力活動を行いながらその地域への定住・定着を図る制度で、鏡野町としては2年目の取り組みとなります。

4名の地域おこし協力隊の隊員に対して山崎町長は「肩の力を抜いて、自分の好きなように事業を行い、早く鏡野町に慣れて多くの友達を作ってもらえればと思います。」と話されていました。新たに加わった3名の隊員につきましては、29ページにそれぞれの一言が掲載されていますので、そちらもご覧ください。



交通安全用品の贈呈

4月13日(月)、鏡野町役場応接室において、交通安全用品の贈呈式が行われました。トマト銀行津山支店八木支店長から山崎町長へ夜光タスキ50本が贈呈されると、山崎町長は「交通安全に役立ちます。交通事故が減るよう大切に利用させていただきます。」とお礼を述べました。



記録BOX

広報かがみの4月号の記事において、左記のとおり誤りがありました。

「記録BOX」記事中

(誤) 打撃賞2位 近藤 信次

(正) 打撃賞2位 近藤 伸次

訂正してお詫び申し上げます。